

2025 第10回 ボディパーカッション 教育研究会 記念大会

インクルーシブ教育を目指す ボディパーカッション教育の可能性

日 時 2025年9月13日(土) 13:00～16:30 ※受付12:30～

会 場 東京・国立オリンピック記念青少年総合センター
センター棟311号室

参加費 第10回記念大会のため無料 ※アーカイブ(録画)視聴可



講師

山田 俊之

ボディパーカッション教育考案者

九州栄養福祉大学

こども教育学部教授



特別講師

志民 一成 氏

文部科学省

初等中等教育局視学官

参加申込はこちら



主 催 一般社団法人ボディパーカッション教育振興会
body@tebyoushi.com TEL 090-8419-6219 (山田)

ご挨拶

ボディパーカッション教育は「障害の有無や軽重にかかわらずみんなで一緒に楽しく学ぶ教育」を目指しています。2019年米国・ニューヨークカーネギーホール、2023年英国・オックスフォード大学で“インクルーシブ教育教材”として研究作品発表を実現できました。

本研究会では、志民一成先生（文部科学省初等中等教育局視学官：音楽科）に特別講演して頂きます。そして、山田俊之のワークショップ、ボディパ認定指導者の実践発表（4例）、さらには、志民一成先生に学習指導要領の観点から考察して頂きます。

一般社団法人ボディパーカッション教育振興会 山田俊之



左) 英国・オックスフォード大学
においてボディパーカッション
教育研究作品発表(2023年3月)
右) アメリカ・ニューヨーク・カー
ネギーホール(大ホール)において
ボディパーカッション教育研究
発表 (2019年12月)
作/編曲・指揮：山田俊之

《研究会の概要》

●実践ワークショップ 13:00～13:50

「ボディパーカッションの基本的な指導法と実践例」

講師 山田 俊之

●実践発表と質疑応答 14:00～14:50

「ボディパーカッション教育を取り入れた実践報告」

- ① 山田 淳司（小学校の朝会における実践）……………特別活動・学校行事
- ② 小宅 千 （小学校音楽科の授業実践）……………音楽科
- ③ 渡辺久美子（小学校の国際交流における実践）……総合的な学習の時間
- ④ 渡邊 彩子（療育現場のセラピー実践）……………社会教育・音楽療法

●特別講演 15:00～15:50

「体を楽器に（ボディパーカッション）音楽教育の可能性」（仮題）

特別講師 志民 一成 先生（文部科学省初等中等教育局視学官：音楽科）

●質疑応答 16:00～16:30 閉会行事

研究会のまとめとして、志民一成先生より参加されている方々の質疑応答も交えて学習指導要領に基づき解説や考察をして頂きます。

講師プロフィール



特別講師

志民 一成（したみ かずなり）氏

愛知県出身。愛知県立明和高等学校音楽科にてトランペットを専攻し、竹本義明、杉木峯夫各氏に師事。卒業後、声楽（テノール）に転向。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学の別科（声楽）および大学院修士課程（音楽教育専攻）修了。声楽を小栗久和、三林輝夫、クラウス・オッカー各氏に師事。ドイツと日本の歌曲を主なレパートリーとし、2006年、2008年に東京、2012年に静岡、そして2013年には名古屋でジョイント・リサイタルを、2015年には東京でソロ・リサイタルを開催するなどしている。また、これまでに吹奏楽や合唱の指導者やオペラ等の指揮者としての活動にも携わる。一方、研究領域である音楽教育学では、山本文茂、佐野靖各氏に師事。＜子どもの声＞を主な研究テーマとし、共編著書に『子どもの表現を見る、育てる』（文化書房博文社）、『おんがくのしくみ』（教育芸術社）、『音楽を学ぶということ』（教育芸術社）、『小学校新学習指導要領の展開 音楽編』（明治図書）、共著書に『音楽する子どもをつかまえた』（ふくろう出版）などがある。これまでに、中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会幼児教育部会の委員等も務めている。日本音楽教育学会、音楽教育史学会、日本音楽知覚認知学会、三輝会、各会員。民謡杉山流名取（杉山孝成）。洗足学園大学、千葉大学、明星大学、東京藝術大学各非常勤講師、東京成徳大学専任講師、静岡大学教授などを経て、平成30年4月より国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官、並びに文化庁参事官（芸術文化担当）付教科調査官、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官、令和6年4月より文部科学省初等中等教育局視学官

講師 山田 俊之（やまだ としゆき）

九州栄養福祉大学こども教育学部教授。専門はボディパーカッション教育、特別支援・インクルーシブ教育、リズム教育。小学校・特別支援学校勤務を経て現職。リズム身体活動「ボディパーカッション®教育」を考案し、知的・聴覚障害の子どもたちにも指導を広げ、2001年以降NHK交響楽団と共演企画を実施。著書『ボディパーカッション入門』を契機に講座受講者は8万人超。自身の作品が教科書に採用され、NHK障害福祉賞や読売教育賞なども受賞。2025年には国際ボディパーカッション教育学会を設立。カンボジアやオーストラリア、英国、アメリカなど海外でも教育支援や作品発表、ワークショップを精力的に行う。



(一社)ボディパーカッション教育振興会は、下記のような行事・研修会・大学等で指導や講義ができる認定指導者を育成しています。関心のある方はご連絡ください。

「ボディパーカッション教育活動」のご紹介

2023 年 3 月、オックスフォード大学シェルドニアアンシアターで「ボディパーカッション教育研究作品発表」を実施して、インクルーシブ教育教材として高い評価を頂きました。また、国内において下記の様々な分野（NHK教育番組、社会教育、産学連携、音楽分野、大学教育）で活用されています。

＊ 2026年1月3日 オートリア・ウィーン楽友協会ホール「ボディパ作品発表演奏会」（メンバー募集中）

《2024 NHKみんなの歌「ボディパ」（作詞作曲：サキタハジメ）でボディパーカッション監修》



2024年11月、NHKみんなの歌「ボディパ」（作詞作曲：サキタハジメ）でNHK教育番組に出演している子ども達と聴覚障害の児童と一緒に「聴覚障害があっても音楽（振動・視覚）は楽しめる！」をテーマにボディパーカッション指導で監修。

《2024 社会教育（ダイバーシティ＆インクルージョン）で講座》



2024 年 8 月、九州社会教育主事認定講習（主催；文部科学省、主管：九州大学）で「ダイバーシティ＆インクルージョン」をテーマにカンボジア教育支援やニューヨーク・カーネギーホール作品発表等を紹介。（文部科学省の社会教育HPで紹介）

《2024 インクルーシブ教育でNHK・多摩美術大学の産学連携に参加》



2024年10月、NHKエデュケーショナルと多摩美術大学の産学連携プロジェクトの紹介。（インクルーシブ教育をテーマにボディパーカッション教育について講義＆ワークショップ）

《2024 子供から大人までが楽しめるイベントでワークショップ開催》



2024 年 10 月、サントリーホール主催の「ミュージック・マルシェ」（東京・港区 六本木アークヒルズ 広場）で「山ちゃんの楽しいボディパーカッション」（共催：森ビル株式会社）

《2025 大学で「ボディパーカッション教育」として単位取得＆指導者資格認定》



2025 年、所属している九州栄養福祉大学こども教育学部開設しインクルーシブ教育における最先端の学びとして「ボディパーカッション教育」を取り上げて Point3 で紹介。（＊2023 年 3 月イギリス・オックスフォード大学でボディパーカッション教育研究作品発表を実施）

《2019 NHKみんなの歌「パプリカ」（米津玄師 作詞・作曲）でディパーカッション指導》



2019 年、国民的ヒット曲「パプリカ」フーリンのメンバーと、聴覚障害、視覚障害、肢体不自由、小児がん、発達障害、脳性麻痺、ダウン症、知的障害等の子ども達とフーリン楽団を結成。この時に、「歌って踊ることが難しい子ども達」も楽しめるボディパーカッション指導。

ボディパーカッション教育研究や資格取得にご興味ある方は下記メールアドレスへご連絡ください。

（一社）ボディパーカッション教育振興会（代表：山田俊之） body@tebyoushi.com

国際ボディパーカッション教育学会事務局（九州栄養福祉大学） body1986@knwu.ac.jp

